

7. 河川空間の現状

7-1 河川敷等の利用の状況

7-1-1 河川敷地の利用状況

湧別川の年間河川空間利用者総数(推定)を以下に示す。

平成 15 年度の利用者数の推計は約 18 万人で、沿川市町村人口から見た年間利用回数は約 5.2 回/人である。

利用形態別では、スポーツ利用が約 91%を占め、最も多く、次いで散策等約 6%、釣り・水遊びの利用者がわずかにみられた。

利用場所別では、利用形態を反映して高水敷が 94%と最も多く、次いで堤防が 3%、水際、水面が 2%、1%であった。

今後もスポーツや散策等を主体とした高水敷利用の活発な河川利用が期待される。

区分	項目	平成15年度	
		推定値 (千人)	グラフ
利用形態別	スポーツ	168	<p>水遊び 1% 散策等 6% 釣り 2% スポーツ 91%</p>
	釣り	4	
	水遊び	1	
	散策等	11	
	合計	184	
利用場所別	水面	1	<p>水面 1% 水際 2% 堤防 3% 高水敷 94%</p>
	水際	4	
	高水敷	174	
	堤防	5	
	合計	184	

7-1-2 高水敷の利用状況

高水敷は、洪水時以外は未使用であるよりも洪水流通時管理面で支障の生ずることがなく、かつ、河川の公共用物としての性格にあった利用がなされる場合は、河川にとって好ましいものである。オープンスペースの少ない都市部では、河川空間の存在は貴重であり、河川敷地の緑地化、公園化を推進し、積極的に開放、利用を図っている。利用状況は以下のとおりである。

表 7-1 河川敷地の占用状況（直轄管理区間）

河川敷地占用許可実態調書(1)【河川敷地利用状況】

(1)敷地占用に係るもの

網走開発建設部

網走川水系

湧別川

占 用 目 的	件 数	面 積(m ²)	備 考
公 園 ・ 緑 地	8	1,063,663.78	
運 動 場	1	70,801.50	
採 草 放 牧 地	55	862,368.70	
畑	3	7,352.50	
自 動 車 練 習 場	1	29,268.12	
水 産 物 干 場	18	16,016.80	
そ の 他 敷 地	2	37,020.76	
計	88	2,086,492.16	

河川敷地占用許可実態調書(1)【河川敷地利用状況】

(2)工作物設置に係るもの

網走開発建設部

網走川水系

湧別川

占 用 目 的	件 数	面 積(m ²)	備 考
住 宅	6	5,572.40	
倉 庫 ・ 物 置 等	5	701.42	
橋 梁	12	44,055.18	
道 路	18	63,562.98	
電 柱	16	75.00	
支 線 ・ 支 柱	17	31.50	
H 柱	4	14.00	
鉄 塔	2	164.23	
電 線 架 空 横 断	26	14,379.58	
橋 梁 添 架	25	3,675.82	
埋 設 物	29	684.26	
水 路	5	1,769.92	
樋 門 ・ 樋 管	1	565.50	
そ の 他 工 作 物 (建 物)	2	218.60	
そ の 他 工 作 物 (建 物 以 外)	6	109,369.38	
計	174	244,839.77	
合 計	262	2,331,331.93	

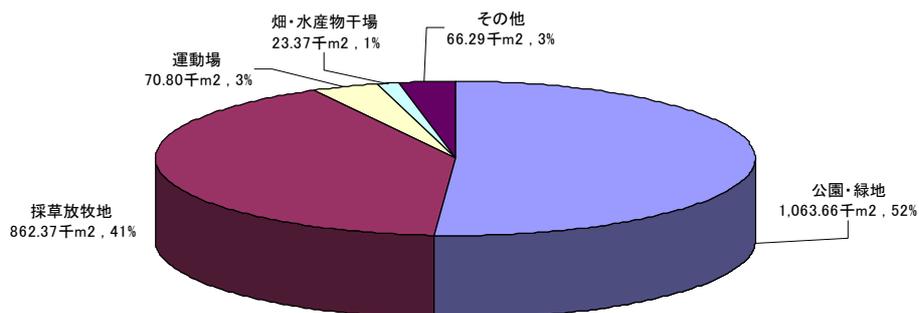


図 7-1 高水敷占用状況(敷地)

7-2 河川の利用状況

湧別川における河川利用状況は、下流側ではゴルフ場やパークゴルフ場、上流側では公園緑地、運動公園等が整備されている。特に直轄管理区間内では、遠軽町での桜つつみやパークゴルフ場、中湧別町でのリバーサイドゴルフ場、湧別町のパークゴルフ場が特徴的である。また、夏には「つり大会」、「夢里くんだり」、「燈ろう流し」、「がんぼう夏まつり」等、冬には「クロスカントリースキー大会」等、四季を通じて様々なイベントの会場として利用されている。



写真 7-1 湧別川 川の学校



写真 7-2 遠軽がんぼうまつり



写真 7-3 湧別原野 100km クロスカントリースキー大会



写真 7-4 いわね橋下流右岸運動公園



写真 7-5 湧別大橋左岸河川緑地公園



写真 7-6 遠軽橋下流左岸せせらぎ公園

出典：北海道開発局 網走開発建設部より